



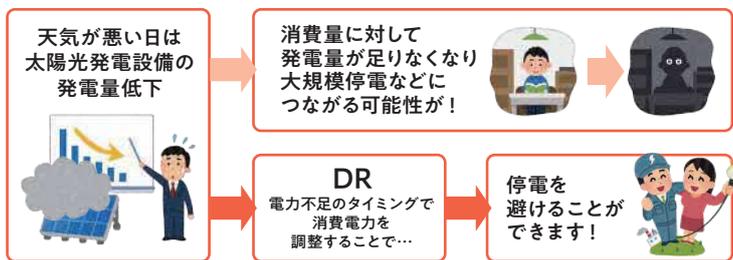
本市でも取り組んでいます! デマンド・レスポンス

デマンド・レスポンスとは?

私たちの生活に欠かせない電力を安定して届けるためには、電力の消費量(需要量)と発電量(供給量)のバランスが取れている必要があります。近年、地球温暖化防止策として再生可能エネルギーの導入が進んでいます。天候などの条件に大きく左右され

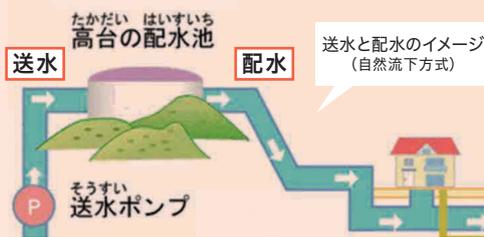
るため発電量のコントロールが難しく、電力の需要と供給の調整が重要になっています。そのような中、需要量を供給量に合わせる「デマンド・レスポンス(DR)」が注目されており、本市もこの取組に参加しています。

DRの例(太陽光発電)



上水道事業のデマンド・レスポンス

本市の上水道事業では、地下深くからくみ上げた地下水を送水ポンプで高台の配水池に送り、その位置エネルギーを利用して各家庭に水を届けています(自然流下方式)。送水には多くの電力を消費しますが、電力の供給量が不足すると予想される場合、九州電力送配電株式会社からの要請に応じて事前に配水池へ送水し、供給量が不足する時間帯に送水ポンプを停止することで、消費する電力の抑制を図っています。



熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

建物を ZEB にしませんか?

Net Zero Energy Building

ZEB(ゼブ)とは、快適な室内環境を維持しつつ、省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入により、年間の一次エネルギー(石油や石炭、太陽光などの自然から直接採取できるエネルギーのこと)の収支をゼロとすることを目指した建築物です。



ZEBには4段階の定義があり、ZEB ReadyとZEB Orientedについては、再エネ設備を導入しなくても、エネルギー使用量の削減によりZEBランクを達成することができます。

ZEBランク	建物用途	一次エネルギー消費量削減率	
		省エネのみ	創エネ含む
『ZEB』	すべて	50%以上	100%以上
Nearly ZEB	すべて	50%以上	75%以上
ZEB Ready	すべて	50%以上	-
ZEB Oriented (※1)	事務所、学校等	40%以上	-
	上記以外用途	30%以上	-

※1 延床面積10,000㎡以上の建築物を対象。規定された省エネ量+再エネ設備技術(※2)の導入が必要。
※2 省エネ効果率は認められている。ZEB評価プログラムにおいて現時点では評価されていない技術。

Report! 『ZEBの新事務所』完成見学会を開催しました!



当センターが企画・検討から携わっている、「省エネ+創エネで建物の一次エネルギー消費量が正味0%以下となるZEB新事務所」が、今般、無事完成いたしました。2月26日に現地にて見学会を開催し、ZEBへの理解を深めていただきました。(44名が参加)

熊本市地球温暖化防止活動推進員より

ミツバチからのプレゼント



ミツロウキャンドルで
ミツバチのこころ環境のこころに
心を寄せるキャンドルナイトを♪

国連食糧農業機関の報告書によると「野生の顕花植物種のうち9割以上、世界の農作物のうち7割以上がミツバチをはじめとする昆虫や動物を媒介に受粉している」とされています。ミツバチは私たちにとって非常に身近な存在として、食料や生物多様性の保護に大きく貢献しています。しかし、昨今の温暖化によってミツバチの生息数は減少しています。蜂群が育たないうちに花が咲くと、花蜜や花粉から養分を摂取できなくなり、他にもダニによる感染症の拡大、台風の大規模

化や水害はミツバチの生息にも影響を及ぼします。もしミツバチがいなくなったら、野菜や果物の収穫量が大幅に減少してしまう可能性があります。

そこで、ミツバチに心を寄せるため、「ミツロウキャンドル作り体験」を開催します。ミツバチが六角形の巣を作る材料として働き蜂の腹部から分泌されるロウを用いて、ろうそくを作ってみませんか。身近にミツロウキャンドルを置くことで、キャンドルナイトを楽しみつつ、ミツバチを思いやりましょう。

※キャンドルナイトとは夜電灯を消してキャンドルを灯し、省エネや環境問題などについて考える運動

Check! ミツロウキャンドル作り体験 開催!

【とき】
2024年 3月2日(土)
10:00~15:00

【ところ】熊本市西部環境工場
熊本市西部環境工場のイベントにてミツロウキャンドル作り体験コーナーがあります。興味を持たれましたらぜひ遊びにおいでください。



ミツロウキャンドル ミツロウ